

令和4年度びいぶらす押上スタジオ自己評価

〈公表日〉 令和5年3月13日  
 〈事業所名〉 びいぶらす押上スタジオ（墨田区）  
 〈サービスの種類〉 児童発達支援  
 〈対象職員数〉 7名

	チェック項目	はい	いいえ	職員の意見
1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		十分ではないが限られたスペースで工夫して行っています。
2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		
3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		設備や広さが十分ではないが、職員間で意見を出し合い、工夫して行うようにしている。
5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		非常勤職員が時間の中でより参加できるよう工夫していきたい。
6	保護者等向け評価票により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		
7	事業者向け自己評価票及び保護者向け評価票の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。	<input type="radio"/>		
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>	第三者評価は実施しておりません。
9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		研修機会を増やし、資質の向上に努めます。
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		

11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	標準化されたアセスメントツールの使用まで至っていない。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		職員の意見を踏まえ月案作成できる時間を取るなど改善していきます。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		固定化しないよう月別で内容を変えている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○		
17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○	常に行っている。十分に出来ない時などは職員間で声掛けしながら行うことがある。朝のミーティング内容を見直し、職員間でのより共有できるよう改善しています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		新しい個別記録を作成したことで支援のねらいや課題が明確になっている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか		○	定期的に時間がとれるよう改善していきます。
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	今年度機会無し。
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		○	今年度機会無し。
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			※対象外につき未回答

24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか			※対象外につき未回答
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	不十分です。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容などの情報共有と相互理解を図っているか		○	今年度実績無し。
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	研修や勉強会に参加しています。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	今年度実績無し。
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	必要に応じ参加しています。 今年度実績がありませんでした。
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご家庭と一緒に進めていけるように現時点での取り組みや目的を共有できるように心掛けています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○		「家族支援プログラム」としては提供できていない。
32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		重要事項、利用者負担、算定根拠について契約の際に説明をおこないます。また、閲覧用の「ファイル」を設置しています。
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今年度は、就学を控えた保護者の方を対象に2回開催しました。
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速か	○		申入れについては迅速な対応を心掛けています。 また、苦情相談窓口を明示しています。

	つ適切に対応しているか			
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報使用承諾書の内容を遵守し十分に注意しています。
39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	
41	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		周知、訓練について検討が必要などところがあります。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	不十分です。児童、保護者が参加しての訓練が出来ていないので実施方法を工夫するなど改善していきたい。
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		基本情報シートに記入欄を設けています。対応方法についても職員が把握できるようにしていく。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			※給食提供はありません
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
46	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会において（知識、事例、メンタルヘルスなど実施）虐待防止に努めています。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	個別支援計画、重要事項説明などに記載無し。対象者なし。